

あけくれのたより

2月 

発行責任者
前田 功

【校長室より】

寒くなりました

平成24(2012)年は、2月が29日までである「うるう年」。英語では、「leap year」というそうです。「leap」には「飛び跳ねる」「飛び越える」という意味があります。4年に一度の貴重な年です。ロンドンオリンピックも開かれます。大切に過ごしましょう。また、旅立ちの季節が近づいています。次のステップに向けて力いっぱい飛び跳ねてください。

寒くなりますとどうしてもインフルエンザが流行します。日本語では、「流行性感冒」といいます。文字どおり流行しています。1月末からの一週間は患者数が1機関あたり42.6人とピークだった平成17年冬の50.0人に次ぐ多さとなっているそうです。予防の第一は「予防接種」といわれています。私も今年20数年ぶりに接種を受けました。¥3,000という接種代金は多少懐に響く気もしましたが、健康には代えられません。今年のインフルエンザ流行時期は長引くという報道もあります。今からの接種でも十分間に合うのではないのでしょうか。予防接種ができなくてもウィルスを体内に入れないように「うがい、手洗い、マスク(咳エチケット)」を心がけ、部屋の換気をしながら過ごしてほしいものです。保護者の方々のご協力も併せてよろしくお願いいたします。

そして、2月11日(土)は県高校新人駅伝大会が長崎の柿泊陸上競技場周回コースで行われました。私も応援に行っていました。SEA(スポーツ国際交流員)、アンドリュウ先生のデビュー戦でもありました。テレビ局(NCC)が狙いは同じということでずっとアンドリュウ先生の横顔をビデオカメラに納めていました。彼の喜ぶ顔、悲しむ顔、すべてを記録し放映するのだらうと思いました。その狙いどおりいったのか、たぶん彼はそれほど喜怒哀楽を顔に出してはいなかったように思います。ケニアの元ナショナルコーチとしては早々簡単に喜んだり、悲しんだりできないぞ、ということなのでしょう。さて、肝心の本校生の成績は? 先に行われた女子が22校中9位、男子は36校中24位という成績でした。走った生徒の皆さんおつかれさまでした。走り終わった瞬間、力を出し尽くしたため起き上がれなかった人もいましたし、余裕がありそうな人もいました。本校は長距離専門の生徒が少なく、他の部から応援を受けてやっと出場を果たすことができたというところですか。その割には健闘したと思っています。コーチだけが有名でも好成績は望めませんし、生徒だけがいくら頑張っても限界はあります。生徒がいて、名伯楽が指導して初めて成績は伸びていくものだと思います。そのためには、長距離を志す生徒に多数部活に入ってもらわなければなりません。新入生に期待するという手もありますが、まずは現1・2年生の諸君、長距離を走ってみましょう。そして長距離って楽しい、と思えるように頑張ってもらいたいと思います。期待しています。

さらに、19日(日)は大阪石城会が大阪城のそばのレストランを会場に開催されました。私も吉野全国石城会会長とともにご招待を受け、参加してきました。学校の現況報告では、昨年度の生徒たちの進路状況を報告しましたところ、「生徒たちが希望する進路を先生方が一生懸命サポートする体制が整っていますね。」とおっしゃっていただきました。

今年で49回を数える大阪石城会。必然的に来年は第50回の記念すべき年になります。大阪石城会岩脇会長さんは記念すべき節目を来年に控え、今年のうちから様々なイベントを考えていらっしゃいます。今回は65名の参加でしたが、来年は約2倍の120名の参加を目標にフェイスブック等のSNS(ソーシャルネットワークシステム)の活用やHPの開設、五島の他高校、他団体との交流、さらには大阪石城会としてのイベント(「五島列島ふるさと文化祭」)の実施、実施日決定(来年2月17日)など、ありとあらゆる手段を講じて、まずは参加してもらうことを目標になさっています。学校としてもできる限りの協力をしていきたいと考えています。生徒・保護者の皆さん、先輩が大阪地区にいらっしゃったらお声をかけていただけませんか。親戚の方がいらっしゃったら、こういうのがあるみたいよ、と宣伝をお願いします。もちろん、大阪だけではなく東京石城会も多数の先輩に参加していただいています。五島・長崎地区も同様です。それぞれの石城会の参加の案内が届くと思います。お誘い合わせの上、ご参加ください。そして、現役の高校生たちの応援をくれぐれもよろしくお願いいたします。

マラソン大会（3日）

保健体育科

平成24年2月3日（金）に校内マラソン大会を実施しました。この冬1番の寒波に見舞われ、厳しい寒さの中での開催となりました。

男子10km、女子6kmのコースを制限時間内に走るために、12月・1月の体育の授業で走り込みを続けてきました。本番当日も自分の力を精一杯出し切っていました。そして、今年度も進路が決定した3年生が大会に参加し、運営を手伝ってくれたことも成功の大きな要因となりました。

また、保護者のご協力により豚汁を振る舞って頂き、冷え切った体を温めることができました。保護者の皆様には、前日から準備をしていただき本当にありがとうございました。持久走・マラソン大会で走る姿を見てみると、その人間性が強く浮き出てきます。是非、自分の走りを振り返り、自己評価をしてください。ひとつの行事を通して、五高生がたくましく成長していくことを私たちは望んでいます。

多くの方々のご協力で無事に大会を終了することができました。今回のマラソン大会に関わって頂いた全ての人に感謝しております。ありがとうございました。



個人成績(男子)

1位 木戸康博（1-3） 2位 赤尾和樹（1-6） 3位 内田武志（2-1）

個人成績(女子)

1位 小西美紅（1-3） 2位 出口香織（2-6） 3位 堀里由奈（2-4）

団体成績

1位 1年4組 2位 1年1組 3位 1年3組

豚汁炊き出し(2・3日)

教務部

2月3日（金）のマラソン大会に合わせて、走り終わった1・2年生や受験勉強を頑張っている3年生のために、PTAの方が豚汁を準備してくださいました。進路対策委員長の貞方様を中心に、今年度も多くの方にご協力いただきました。

650人分の調理と配膳の大変さに加え、小雪がちらつくほどの寒いなかでの豚汁づくりではありましたが、保護者の皆様の笑顔あふれる温かい対応のおかげで、心も体も温まる豚汁ができました。

その気持ちが伝わったのか、作っていただいた具たくさん豚汁は少しも余すことなく、生徒たちの胃袋のなかに収まりました。寒い中走ってきた生徒たち、これから受験に向けて走り出す生徒たちの励みにきつとなったはずです。

協力していただいた保護者の皆様には、お忙しいなか、わざわざご協力いただき本当に感謝しております。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



地域清掃(3日)

保健美化部

2月3日（金）の午後、ボランティア活動の一環として、本校1・2年生、進路決定した3年生及び教職員で、五島市のアーケードを中心に学校周辺の清掃活動を行いました。吹雪が舞う非常に寒い天候の中、多くのゴミを回収することができました。この活動を通して地域の美化に少しでも貢献でき、生徒たちの地域を美しくしようという気持ちも高まったものと思います。五島で生活する自分たちが快適に暮らしていけることはもちろん、観光や仕事で五島市を訪れる人々が五島市の豊かな自然を体感し、町の美しさにも感動してもらえるよう、今後も率先して美化活動に取り組んでほしいと思います。



部活動生集会(13日)

生徒会指導部

2月13日(月)、7時間目に今年度最後となる部活動生集会を行いました。まず、百人一首かるた部部長西村知佳さんとバドミントン同好会キャプテン入口真愛くんが、それぞれ文化部・体育部の代表として今年度の反省と来年度への抱負を全部活動生の前で話してくれました。体育部については、部室点検や、春季大会への抱負に加え、直前に控えた学年末考査についても触れ、部活だけではなく勉強にもきちんと取り組みましようと呼びかけました。文化部については、今年度の反省として、受賞や大会参加が増えた部がある一方で、定期的に活動を行っていない部があることから、部員一人ひとりが充実した活動ができるように生徒が自ら動いてほしいと話してくれました。

また今回は、新しい取組として「五島高校の部活動生としてどんな姿を目指すのか」をテーマに各部で話し合い、意見を出してもらいました。大事にしたい言葉がたくさんあったのですが、後日部長会で協議した結果、五高の部活動生が目指すのは『感謝と礼儀を大切に、積極的に取り組む姿～技術向上・精神向上・学力向上～』に決定しました。この目標を達成するために具体的に何をすべきか、これから部長を中心に生徒のみなさんに考えてもらい、実践して行ってほしいと思います。



生徒総会(14日)

生徒会指導部

2月14日(火)、1・2年生による生徒総会が行われました。この日に向けて、生徒会執行部員は、各クラスや部活動からの数多くの意見や要望を集約し、何度も話し合いを重ね、生徒総会当日に協議する議題を選ぶなど準備を進めてきました。

当日は会長のあいさつから始まり、議長の進行に従って、予算の承認や専門委員会の報告などが行われました。各クラスから出された議案は、学校生活をより良いものにしようという意識を持ったものでした。

これからも、生徒一人ひとりが、生徒会の一員であるという自覚を持って生活することを期待しています。



准看護師資格試験を終えて(16・17日)

衛生看護科

2月17日(金)五島振興局で、平成23年度長崎県准看護師資格試験が行われ、衛生看護科3年(29名)の生徒が受験をしました。前日には出陣式をしていただき、当日は、多くの先生方や衛生看護科の1年生、2年生に見送られながら学校を出発し、生徒達にとっては大きな励みとなりました。

会場到着後、生徒1人ひとりが、五島会場での受験に尽力下さった多くの関係者の方々、今まで指導して下さった先生方、家族、実習で受け持たせていただいた患者さんとその家族の方々への感謝の思いを胸に、試験開始直前まで真剣に参考書を開いて学習に励む姿がとても印象的でした。

資格試験の合格発表は、約1ヵ月後です。卒業を前にした今は、全員の合格を祈ると共に、1人ひとりが“キラリとキラリ”と輝いた人間でありナースになる夢を実現してほしい、そして4月から各々の進学先や就職先で精一杯頑張ってもらいたいと強く願っています。

今回の准看護師資格試験にあたり、これまでご指導、ご支援いただきました多くの方々にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



大阪石城会開催(19日)

石城会

2月19日(日)に第49回大阪石城会総会・懇親会が関西一円から65名の出席のもと盛大に開催されました。地元五島からは、全国石城会吉野栄一会長、前田功校長・引地勝事務局長が出席しました。

総会は、快晴の中、大阪城を眼下に見下ろすことができる素晴らしい展望のスカイレストランで行われ、大阪石城会の岩脇秀和会長のあいさつでスタートしました。来年は大阪石城会50周年(平成25年2月17日(日)開催予定)という節目の年であり、「ふるさと五島を10倍誇りにし、第50回大阪石城会出席者120名を実現しよう」と出席者に元気よく呼びかけられました。

吉野会長の五島のおいしい旬の食べ物の話などを交えたあいさつで、会場から笑いやうらやましいという声があがっていました。次に、前田校長から五島高校の現状報告があり、平成22年度の進路実績(一橋大1名、大阪大4名、九州大11名など)や今年度の部活動実績、衛生看護科の准看資格試験の報告など、ますます輝きを増す母校と後輩たちの奮闘に、会場から「すごい」という驚きと喜びの声が上がっていました。

総会後の懇親会は、五島中学45回生で大阪石城会平山清則名誉会長の乾杯の御発声でスタートしました。余興では、「喜一郎」や「ベベンコピッチオーケストラ」の演奏があり、最後にアンコールの声が上がるほどの盛り上がりを見せました。

懇親会の最後は、五中・五高女・五高校歌を全員で声高らかに斉唱しました。そして、東京石城会の今村勇雄会長から大阪石城会の発展を祈念しての万歳三唱があり、平成23年度の大阪石城会総会・懇親会が盛会のうちに終了しました。

最後に、3月に卒業を迎える卒業生には、東京・大阪・長崎・五島の各石城会総会に出席し、故郷を巣立った同窓生としての自覚を深め、現代社会で活躍されておられる先輩方の輪に入り、人脈を広げ、社会で逞しく生活を送ることを期待しています。

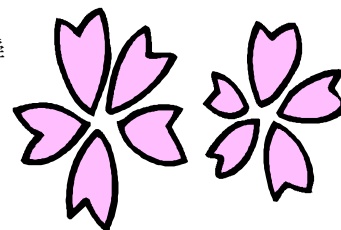
「特別編制授業を終えて、前期個別学力試験に向けて」(22日)

第3学年

2月22日(水)をもって、3年生の特別編制授業が終了しました。大学入試センター試験終了後からの38日間、来るべき国公立大前期試験等に向けて3年生は最後の努力を積み重ねてきました。それぞれが2次試験や私大入試で必要とされる科目に特化した学習を続け、目標に向かって、黙々と各自の課題に取り組んできました。いよいよ進路実現に向けた3年間の積み重ねの結果が試される時がきました。きっと最高の結果を出してくれると思います。そして何よりも受験を通して人間的に成長もしてくれたと思います。

3年生は3月1日(木)に卒業式を迎えます。しかしながら本当の卒業はまだまだ先です。前期試験終了翌日から、中期・後期試験に向けた講座が始まります。8日(金)の中期試験と12日(金)の後期試験の直前まで可能な限り指導を続けます。

晴れて合格を勝ち取った日こそが、本当の卒業の日なのです。最後の最後の瞬間までお互いに頑張りましょう。



♪第25回吹奏楽部定期演奏会のお知らせ♪

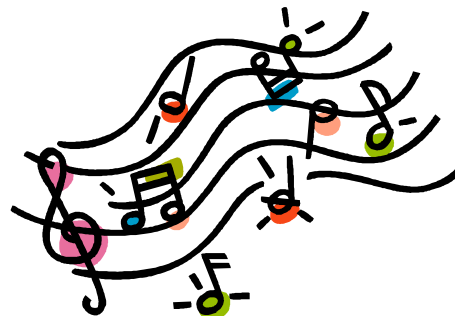
日時:H24.3.20(火・祝) 13:00~開場 13:30~開演

場所:福江文化会館 大ホール **入場無料**

曲目:「バラの謝肉祭」

「中村八大ヒット曲メドレー~こんにちは赤ちゃん~上を向いて歩こう~など」

「キャンディーズメドレー」ほか



「バラの謝肉祭」では、バラの香りを感じられるような暖かな演奏を、「中村八大ヒット曲メドレー」や「キャンディーズメドレー」では、皆さんも知っている曲を楽しく演奏します!